

## 住宅の真下にトンネルいらない！

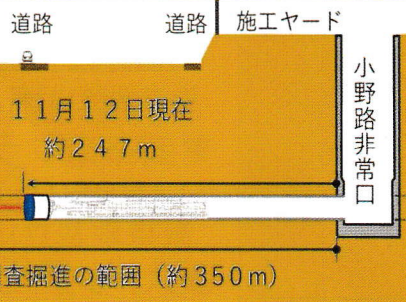
## 全国各地でトンネル工事の事故続発 鹿児島,広島,岐阜,東京

## 住民の命・暮らしを脅かすトンネル工事は中止を！

### 町田市の民家の庭に酸欠気泡噴出！ リニア大深度シールド工事が原因か？

10月22日、リニア新幹線第一首都圏トンネル(小野路工区)大深度地下45m以深を掘進中の直径14mの気泡シールド機の約50m前方の民家の庭先に突然地下水と気泡が噴出。シールド掘進工事は中断され、24日に地下水と気泡の噴出は停止。「リニア町田の会」が、気泡を採取して測定した酸素濃度は一呼吸で致死レベルの1%でした。JR東海は、噴出地点の地表面上部の大気を測定して(3cm高:18.8%、50cm高:19.7%)、酸欠空気ではないので安全だと主張しています。また、11月13日にJR東海社長は記者会見で、空洞はないことが確認されたと発表。地下約1.5mまでしかわからない路面下レーダー探査を行っただけで、何を根拠に地下45mまで空洞なしというのか！

住民の不安はJR東海への不信に。原因の徹底究明を！



目黒川工区  
の目黒川に  
(も)酸欠気  
泡4%  
出典JR東海

### 外環調布陥没地盤補修、入間川に気泡発生し続けているが、工事続行！

2023年11月に地盤補修箇所の近くの入間川から気泡が勢いよく噴出する重大問題が発生。事業者は環境への影響はないとして住民説明会も開かず工事再開。2024年7月以降も、市道や入間川への噴出があったのに、単に公表するだけで工事を続行しており、住宅の地下室等に噴出する危険性を放置。

傍聴に来てください (先着順)

第24回口頭弁論 12月10日(火)14:00

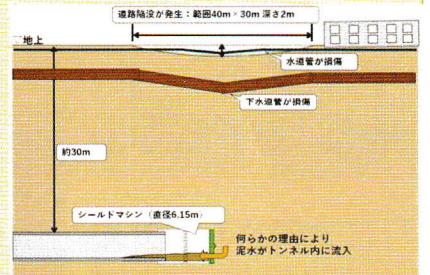
東京地裁103号法廷 地下鉄「霞ヶ関」駅A1出口

15時(予定)報告集会 衆議院第2議員会館第2会議室

### 広島シールド工事で突然道路陥没 周辺住民は緊急避難生活

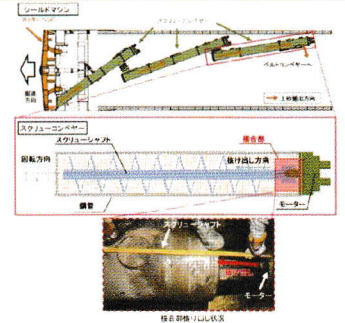


9月26日、広島市西区で、地下35mに雨水をためる直径約5mの雨水管を設置するシールドトンネル工事の現場直上の道路が陥没(30m x 40m x 最大深さ2m)、周辺12棟に傾くなどの被害がでて、居住者が避難生活を送っています。トンネルに出水してから10分程度で地表陥没の重大事故。被害拡大防止のためにトンネル内部を水没。検討委員会を設置して原因調査を行うとのこと。



### 外環大泉本線のシールド機故障。

大泉本線北行きトンネルのシールド機のスクリュウコンベヤの軸がモーターから抜け出す故障事故が発生。2週間後の11月5日にやっと公表。シールド機のトラブルが最近目立つ。



### 外環東名JCT、土留壁変状・ 地表陥没、応急措置は函体部を水没。

8月30日の大雨時に東名JCTのG&Hランプ函体部の土留壁に変状発生、傍の地表面陥没。近接する区道を通り止めにして迂回路を設置。土留壁倒壊防止の応急措置は函体を水没させて水圧で支持。





国の主張に実証的に反論!

陥没地域の地盤沈下は、トンネル直上だけでなく、広い範囲で起きている。

地中拡幅部の詳細設計もできてないのに事業施行期間が適切と判断したことに理由がない。

原告準備書面(59)では、被告国の「地盤の緩みはトンネル直上部に限定される」との主張に対して、直上部以外にも地盤沈下や変異が生じていることを実証的に反論しました。①トンネル施工等検討委員会識者委員会という事業者お抱え委員の報告書によっても、トンネル直上部以外の地盤も掘進地域からトンネルの直径(約16m)の2倍の距離の範囲に地盤沈下が生じていること。②衛星データの解析でもトンネル真上以外でも1センチ以上の変動が多数あったとされていること。③2021年2月に本件トンネル工事現場付近の入間川分水路の管渠において多数の損傷が発見され、NEXCO東も一部はトンネル工事に起因すると認めざるを得なかったこと。④事業者が行った「落とし戸実験」や「振動実験」は、実験の条件が事故現場の条件と異なり信用できないこと。などが明らかにされました。(右上へ)

原告準備書面(60)では、国の主張に根拠がないことを反論しました。①国、NEXCO東日本、NEXCO中日本が連名で公表した本件事業の事業再評価について、原告は本件地中拡幅部の詳細設計完了の時期が不明であること、青梅街道ICにおける地中拡幅部の断面形状・工法変更について詳細設計自体が行われていないことも含めて求釈明を行いました。国は、「本件再変更承認の適法性とは関連性が認められない」あるいは「類似事業の施工期間を考慮して事業施行期間が適切であると判断した」として回答を拒否しています。しかし、国が言う「類似事業」と本件工事とは、規模も工法も全く異なる工事例であって国の主張には何ら理由がないことを明らかにしました。②大深度地下使用法において補償が不要とされる理由として国が主張するものに理由がないことを明らかにしました。



第24回弁論12月10日(水)14時  
東京地裁103号法廷

終了後報告会を予定しています。傍聴を!

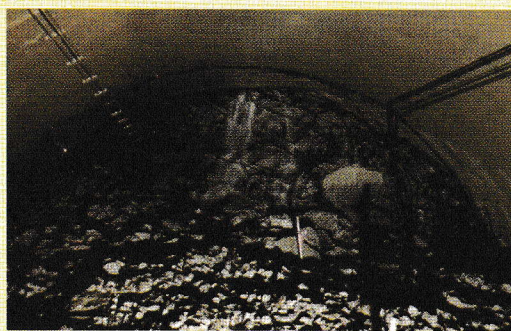
リニアトンネル工事で水枯れ・地盤沈下5.6cm

リニア日吉トンネル(NATM工法)の工事現場付近の瑞浪市大湫(おおくて)町は、中山道の宿場町です。工事の進捗に伴い、大湫盆地の井戸や水田などが涸れ、今では地盤沈下が各所で進み(11/5現在最大5.6cm)、家屋被害も発生しています。 出典JR東海



鹿児島県北薩トンネル崩落

2024年7月、北薩トンネル(2018年開通。NATM工法、湧水対策で土木学会技術賞)の中に出水、壁が崩落してトンネルが埋まってしまいました。止水の難しさを象徴。



★提訴7周年集会

2024年2月23日(日)13:30~  
三鷹市市民協働センター(三鷹駅)

外環道青梅街道IC取消訴訟  
口頭弁論 2月20日(木)13:30  
東京地裁103号法廷

▼調布市プライバシー訴訟

12月9日(月)10時  
東京地裁立川支部405法廷

●ストップ・リニア訴訟第4回

1月23日(木)13:30  
東京高裁101号法廷

●リニア山梨明かり区間訴訟

2月5日(水)14:30 第2回  
東京高裁511号法廷

●NO!大深度リニア訴訟第3回

2月17日(月)14:00  
東京地裁103号法廷

「東京外環道訴訟を支える会」

<http://nongaikan.sblo.jp/>

問合せ:nongaikan2017@gaikan.net

ゆうちょ銀行 〇一九店当座 0392387

郵便振替口座 00150-0-392387

年会費1000円 カンパ歓迎